

ソフトテニス部

楽しい 雰囲気 を大事に

徳島大学ソフトテニス部は、大学に来てから始める人もおり、毎年多くの学生が入部してきます。蔵本キャンパスにもソフトテニス部があり、さらに各学部内でも愛好家が集まって楽しんでいるほど人気の高いスポーツのひとつです。

常三島キャンパスでは同部がひとつであるため、部員数も50名ほどの大所帯です。なぜか今まで女性部員がいなかったのですが、一昨年、数人の入部があり、女性も参加しやすくなりました。

年間のスケジュールは、4月の新入生歓迎会に始まり、春の四国大会、夏のインカシ、夏休み中の合



キャプテン
工学部建設工学科3年
田中 優大 たなか ゆうた

平日の練習は総合グラウンドで、授業やバイトと両立しながら行っています。土日は午前中に全体練習を行い、午後は練習試合となっています。見学や入部は随時できますので、気軽に練習の見学に行ってみてください。



宿、秋の四国大会といったメインのイベントの合間に、市や県

の大会にも参加します。また花見やバーベキュー、スノーボードなどを部員の親睦のために行っています。

「部活という点で厳しいイメージがありますが、うちの部ではゆるやかに楽しい雰囲気を大事にしています。でもまじめに、やるべきはやっていきますよ」という主将の田中さん。昨年の夏のインカシでは団体優勝するなど、ちゃんと実力も持っているのです。

教室や研究室に行けなくなる時

学生相談室 専任カウンセラー
的場みぎわ

大学生の不登校

教室や研究室に行けないという不登校の学生の相談をよく受けます。ただし、当の学生達が、自主的に来室してくることはまずありません。困り切った教員や保護者に連れられて来室してきます。これらの学生は「行けない」という行動で自己表現しているといえます。そういう行動しかできない状況にあるとも考えられます。自分の力で今の状況を変えたり、誰かに相談したりできないのです。学生の本業は、勉強や研究です。学びの場である大学に行けないことは、学生にとって本当に苦しくつらいことだと思われれます。

教室や研究室に行けなくなる「わけ」

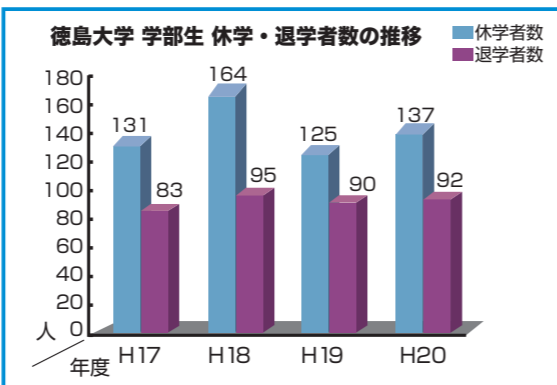
ところで、何故行けなくなるのでしょうか？
理由は、いろいろ考えられます。「不本意入学」「やりたいことと違ふこと」入学自体や専攻に問題があるもの、「朝、起きられない」「お腹が痛む」「何度が欠席したら行きにくくなった」などの問題が身体や行動に現れたもの、「勉強や研究が嫌い」「良い実験結果が出ない」といった学業や研究に対する能力のなさや葛藤を訴えるもの、あるいは、「ゲームやインターネットにはまり過ぎたもの、また、「友達がいらない」「人の中にいると緊張する」といった対人関係に問題があるもの、その他、鬱病や統合失調症といった精神的な病気のものまで、本当に多種多様です。

休学・退学の問題

不登校や留年から休学や退学に至る学生も多くいます。平成20年度における本学の休学・退学者数は学部生だけで、合わせて200名を超えています。大学院生を加えると、さらに大きな数になります。中には何らかの支援があれば休学や退学に至らなかつたケースも含まれていると思われれます。

友達や先生の存在

悩んだ時、相談できる相手として、友達の存在があります。まずは、良い友達を作りましょう。そして、友達に、自分の気持ちや悩みを話しましょう。友達からいろんな意見やアドバイスをもらいながら、自分の問題を整理してみることを



相談室も一つの居場所

「こんなところが大学にあったのですね」「話を聞いてもらえてよかったです」と学生さんから感謝の言葉をいただくことがあります。相談室は、学生さんが悩んだ時、困った時に相談できる場所です。修学・履修・進路・就職・人間関係、キャンパス・ハラスメント、悪質商法やネットトラブル等多種多様な相談を受けています。悩んだら、困ったら、気軽に相談してくださいね。皆さんの悩みや問題が少しでも軽くなるよう応援します。

キャンパスの「ほっとルーム」学生・職員相談室 利用案内

ご利用は、直接来室するか、電話またはメールでお申し込みください。
TEL：088-656-7637
E-mail：gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp

●常三島キャンパス 共通教育棟5号館 1階
利用時間：月～金 9：30～17：30

●蔵本キャンパス 蔵本会館 2階
利用時間：火 13：30～17：30

※事前に予約をすれば他の日時も相談できます。

